

# 安全データシート(SDS)

## 1.化学品及び会社情報

昭 和 化 学 株 式 会 社 東京都中央区日本橋本町 4 - 3 - 8 担当

TEL(03)3270-2701 FAX(03)3270-2720 緊急連絡 同 上 2025/04/22 改訂日 SDS整理番号 03482150

製品等のコード : 0348-2150、0348-2160、0348-3160、0348-4180

: シクロヘキサン 製品等の名称

推奨用途 : 試薬

参考:その他の用途(当該製品規格に限定されない一般的用途。規格により用途は相違。) 溶剤、洗浄剤、カプロラクタム原料、・アジピン酸原料、合成中間体 など

推奨用途以外の用途へ使用する場合は化学物質専門家等の判断を 仰ぐこと 使用上の制限









# 2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 自然発火性液体 区分2 区分に該当しない 区分に該当しない 自己発熱性化学品

健康に対する有害性 皮膚腐食性/刺激性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分2 区分2A 区分2(血管系)、 区分3(気道刺激性、麻酔作用) 分類できない

誤えん有害性

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) 水生環境有害性 長期(慢性)

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 引火性の高い液体及び蒸気 皮膚刺激 強い服烈激

強い限利の 一管系の障害のおそれ 呼吸器への刺激のおそれ 眠気又はめまいのおそれ 水生生物に非常に強い毒性 長期的影響によって水生生物に有害

注意書き 【安全対策】 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 容器を密閉しておくこと。 容器を接地すること、アースをとること。

昭和化学株式会社 1/8 ページ SDS No. 03482150

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器などを使用すること。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 ミスト、蒸気、粉じん、煙、ガス、スプレーを吸入しないこと。 取扱い後は、よく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 保護手袋、保護を、保護眼鏡、保護面を着用すること。 『「気急措】

【応急措置】

【心忌有直】 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。 多量の水と石鹸で洗うこと。 眼に入った場合:水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に 外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。 気分が悪い時は医師に連絡すること。 皮膚刺激が生じた場合:医師の診察 手当を受けること

皮膚刺激が生じた場合:医師の診察、手当を受けること。 眼の刺激が続く場合:医師の診察、手当を受けること。 服の刺激が続く場合:医師の診察、手当を受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 漏出物を回収すること。

【保管】

直射日光を避け、容器を密閉し換気の良い冷暗所に施錠して保管すること。

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の現時点で「区分に該当しない(分類対象外も該当)」又は「分類できない」である。 上記以外の項目は、

#### 3.組成及び成分情報

成分及び含有量 化学式及び構造式 分子量

84.16

官報公示整理番号 化審法 安衛法

(3)-2233 公表化学物質(化審法番号を準用)

CAS No. 110-82-7 EC No. 危険有害成分 203-806-2 シクロヘキサン

## 4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

目に入った場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
直ちに、汚染された衣類、靴などを脱ぐ。 皮膚を多量の水と石族で洗う。 皮膚刺激などが生じた時は、医師の手当を受ける。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯する。
直ちに、水で15分以上注意深く洗う。その際、顔を横に向けてからゆっくり水を流す。水道の場合、弱い流れの水で洗う。勢いの強い水で洗浄すると、かえって目に障害を起こすことがあるので注意する。まぶたを親指と人さし指で拡げ眼を全方向に動かし、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。 次に、コンタクトレンズを着用していて固着していなければ除去し、洗浄を続ける。

次に、コンタ? 洗浄を続ける。

,服の洗浄が遅れたり、不十分の場合は、眼の障害のおそれがある。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、治療を受ける。 眼刺激が消失しても、遅れて障害が現れることがあるので、必ず医師の

飲み込んだ場合

版利成が用来しても、遅れて障害が現れることがあるので、必ず医師の診断を受ける。 : 口をすすぎ、うがいをする。無理に吐かせない。 強制的に吐かせると、本製品が揮発性のために嘔吐物の一部が肺に入り 高熱が出て出血性肺炎を引き起こす危険性があるため、水などを飲ませて無理に吐かせてはいけない。

きさいた。 意識がない時は何も与えない。 気分が悪い時は、医師の診療を受ける。

昭和化学株式会社 2/8 ページ SDS No. 03482150

予想される急性症状及び遅発性症状

し眠、頭痛、吐き気 5燥、発赤

光に近仏: 吸入した場合 : めまい、し眠 皮膚に付着した場合 : 皮膚の乾燥、 眼に入った場合 : 発赤、痛み 飲み込むんだ場合 : 灼熱感、腹痛

: 発赤、痛み : 灼熱感、腹痛、めまい、し眠、頭痛、吐き気

5.火災時の措置

適切な消火剤

本製品は可燃性、引火性であり、極めて燃焼しやすい。 粉末、二酸化炭素、泡(耐アルコール泡)、水噴霧 大火災の場合、空気を遮断できる泡消火剤が有効である。 棒状放水(本出である)

使ってはならない消火剤:

特有の危険有害性

引火性が極めて高い。

引火性か極の(高い。極めて燃え易いので、熱、火花、火炎で容易に発火する。引火点(-18)以上では蒸気/空気の爆発性混合気体を生じることがある。本製品の蒸気は空気より重く、地面あるいは床に沿って移動することがあり、屋内、屋外、下水溝などでの遠距離引火の可能性がある。加熱により容器が爆発するおそれがある。火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。火元への燃焼源を遮断する。

特有の消火方法

火元への燃焼源を遮断する。 火災周辺の設備、可燃物に散水し、火災延焼を防ぐ。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 大火災の場合、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて 消火する。これが不可能な場合には、その場所から避難し、 燃焼させておく。 消火作業の際は風上から行い、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

消火を行う者の保護

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

保護具及び緊急時措置 : 漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。 漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。 風上から作業ら体とのあらい、蒸気、ガスなどを吸入しない。 皮膚、眼など身体とのあららは、蒸気気発生を抑える。 蒸気が多量に発生する場合は、水噴霧し蒸気発生を抑える。 密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。 : 河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。 油又は有害液体物質による海洋の汚染の防止のため、海上で薬剤を 使用する場合は、国土交通省令・環境省令の規定に適合すること。 : 乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、密閉できる空容器に回収する。後で 廃棄処理する。 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて密閉できる 空容器に回収する。

回収、中和

入事が場合、ニュと加って加出を形立し、〈エンダル) 空容器に回収する。 大量の場合、散水は、蒸気濃度を低下させる。しかし、密閉された場所で は燃焼を抑えることが出来ないおそれがある。

封じ込め及び浄化の方法・機材

: 危険でなければ漏れを止める。 漏洩エリア内で稼動させる設備・機器類は接地する。 蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。 : 事故の拡大防止を図るため、必要に応じて関係機関に通報する。 周辺の発火源を速やかに取除く。

二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 裸火禁止、火花禁止、禁煙。強力な酸化剤との接触禁止。

株人宗正、人代宗正、宗桂。強力な版代用との接觸宗正。 引火点(-18)以上で使用する場合は、工程の密閉化および防爆型換気 装置を使用する。 ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。 指定数量以上の量を取扱う場合、法で定められた基準に満足する製造所、

貯蔵所、取扱所で行なう。

財政所、取扱所で17なり。 指定数量以上の危険物を貯蔵し、取り扱う場合は消防法に基づく許可が 必要で、危険物貯蔵所に保管する。 指定数量の1/5以上、1未満(少量危険物)の場合も、少量危険物貯蔵所 に保管し、法の規制を受け、最寄の消防署に届出を行う必要がある。 指定数量の1/5未満の危険物の貯蔵・取り扱いについては届出の必要は

局所排気・全体換気

炎、火花または高温体との接触を避ける。 静電気対策を行い、作業衣、靴等も導電性の物を用いる。 本製品を取扱う場合、必ず保護具を着用する。 防爆型の換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。 蒸気は空気より重く、床に沿って移動することから、床面に沿って換気

安全取扱い注意事項

素気は空気より重く、体に石ってが割ってしまする。
・ すべての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用する。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの
取扱いをしてはならない。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後はよく手を洗う。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しない。
眼に入れない。
接触、吸入又は飲み込まない。
・ 炎、火花または高温体との接触を避ける。

接触回避 保管

技術的対策

: 保管場所は壁、柱、床等を耐火構造とする。 保管場所は屋根を不燃材料で作るととせに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けない。 保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適切な低発をつけ、かつ、適切なためますを設ける。 保管場所で使用する電気器具は防爆構造とし、器具類は接地する。 : 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。 直射日光や高温を避けて保管する。 容器を密閉して換気の良い冷暗所に保管する。 一定の場所を定めて、施錠して保管する。 一定の場所をには、「火気厳禁」の表行う。 混触危険物質、食料、飼料から離して保管する。 : 強酸化剤、過酸化物 : ガラスなど。 アクリル樹脂など多くのプラスチック、ゴムを侵す。

保管条件

混触危険物質 容器包装材料

カラスなと。 アクリル樹脂など多くのプラスチック、ゴムを侵す。

<参考> 室温での容器包装材料の耐薬品性(あくまでも目安、保証不可、実用試験確認必要)

:良好 :やや良好(条件による) :やや不良 x:不良 -:データなし 】

スチレンゴム× クロロプレンゴム(ネオプレン)× ニトリルゴム フ 天然ゴム× シリコーンゴム フッ素ゴム(バイトン、ダイエル) テ 軟鋼 ステンレス(SUS304 SUS316 ) チタン アルミニウム 軟質塩ビ× 硬質塩ビ× ポリスチレン× ABS ポリエチレン× ナイロン アセタール樹脂- アクリル樹脂× ポリカーボネート ブチルゴム テフロン 絧

ポリプロピレン ガラス

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会

ÄĊĠĬĤ

設備対策

保護具

: 呼吸器保護具(有機ガス用防毒マスク)を着用する。 : 不浸透性保護手袋(ニトリル製、ポリウレタン製など)を着用する。 : 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用 ・展発 呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具

皮膚及び身体の保護具:

衛生対策

#### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態

昭和化学株式会社 4/8 ページ SDS No. 03482150

性状 澄明液体。 揮発性が高い。 無色 色

臭い 刺激臭(ベンジン臭)

データなし データなし рН 凝固点  $6.0 \sim 7.0$ 

沸点 引火点

- 18 (密閉式) 引火性 下<sup>阳</sup> 可燃性 爆発範囲 下限 1.3vol%、 上限 8.4vol%

10.3 kPa (20 ) 、 13.1 kPa (25 )

福対ガス密度(空気 = 1): 20 での蒸気/空気混合 気体の相対密度(空気=1):

密度又は相対密度

 $0.778 \sim 0.779 \text{ g/ml} (20)$ データなし 比重

溶解度

アータなし 水に溶けにくい(混和しにくい)(0.0052g/100mL、23.5)。 エタノール、ジエチルエーテルに極めて溶けやすい(混和しやすい)。 アセトン、ベンゼン、ヘキサンなどの多くの有機溶媒に可溶(混和)。 log Pow = 3.44 245~260 データなし。

オクタノール/水分配係数 : 発火点 : 分解温度

粘度 動粘度  $0.98mPa \cdot s (0.98cp) (20)$ 

データなし データなし 粒子特性 1.425 ~ 1.427 屈折率(n 20/D)

GHS分類

引火点 - 18 、初留点80.7 から、区分2(GHS基準:引火点23 未満 および初留点35 超)とした。 引火性の高い液体および蒸気(区分2) 引火性液体

発火点245-260 (ICSC (1994)、NFPA (13th, 2002)、Chapman (CD-ROM ver. 13.2 2005)) であり、常温の空気中で自然発火しないと考えられるので、区分に該当しないとした。UNRTDG クラス 3 に基づき、区分に該当しないとした。 自然発火性液体

#### 10.安定性及び反応性

自己発熱性化学品

安定性(反応性・化学的安定性) : 通常の取扱条件において安定である。

揮発性が高い。

危険有害反応可能性

揮発性が高い。 強酸化剤や過酸化物との接触で火災や爆発を起こすことがある。 加熱すると、激しく燃焼または爆発することがある。 蒸気は空気より重い。地面あるいは床に沿って移動することがある。遠距離引火の可能性がある。 移送時の流動、噴霧、漏れ等の際に静電気を発生しやすく、僅かな放電で引火する危険がある。 塩化ビニル樹脂、アクリル樹脂、ポリスチレンなどのプラスチックは侵さ

避けるべき条件

混触危険物質

知る。 熱、日光、裸火、スパーク、静電気 強酸化剤、過酸化物 加熱分解により一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。 危険有害な分解生成物:

## 11.有害性情報

急性毒性 : 経口 ラット LD50 = 6240mg/kg (EU-RAR (2004))

皮膚腐食性/刺激性

区分に該当しない。
吸入(蒸気) ラット 4時間LC50 > 9,500 ppmV (32.88 mg/L) (EU-RAR (2004)) 区分に該当しない。
吸入(ミスト) 分類できない。
: ウサギおよびヒトにおいて皮膚刺激性があるとの記載(DFGOT vol. 13 (1999), EU-RAR (2004), ACGIH (2002), ICSC(J) (1994)) がある。ウサギでは反復投与により皮膚に亀裂を生じ出血を認めたが、投与終了後1週間では軽快し(DFGOT vol. 13 (1999))、ヒトに原液を1時間付着させた場合、発赤とみみずばれを生じたとの記載(EU-RAR (2004)) があるが、これも回復性の障害と考えられる。以上のことから、区分 2 とした。皮膚刺激(区分2)

5/8 ページ 昭和化学株式会社 SDS No. 03482150

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:ウサギで角膜混濁、虹彩炎、結膜充血・浮腫がいずれも可逆的に 見られた(EU-RAR (2004)) ほか、動物およびヒトで眼に刺激性があるとの記載 (PATTY (5th, 2001), EU-RAR (2004), ICSC (J) (1994), HSDB (2005)) がある ことから、区分2Aとした。 強い眼刺激(区分2A)

呼吸器感作性 皮膚感作性 

強い眼刺激(区分2A) 分類できない。 分類できない。 区分に該当しない。 In vivoでは、ラットの骨髄細胞を用いた染色体異常試験で陰性である(EU-RAR (2004)、DFGOT vol.13(1999)、IRIS(2003)、Patty(6th, 2012)、 IUCLID(2000))。

区分に該当しない。 発がん性

生殖毒性

区分に該当しない。EPAでI(ヒト発がん性には証拠が不十分な物質)と分類されている。区分に該当しない。区分に該当しない。フットの吸入ばく露による2世代試験において、親動物に顕著な一般毒性影響(体重増加抑制、摂餌量減少)が発現する用量においても、親動物の生殖能には影響はみられず、児動物には最小限度の影響(新生児重量減少)がみられたに過ぎない(EU-RAR(2004)、ACGIH(7th, 2002))。また、妊娠ラットに吸入ばく露した発生毒性試験では、母動物毒性(体重増加抑制、摂餌量減少、聴覚刺激に対する反応低下)が見られる用量でも胎児への影響は生じなかった(EU-RAR(2004)、ACGIH(7th, 2002))。以上より、分類ガイダンスに従い区分に該当しないとした。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

動物の多くの試験で中枢抑制が報告されており、麻酔作用があるとの記載が多いが、曝露量のデータがない。ウサギへの経口投与において、区分2のガイダンス値範囲内の用量で血管損傷が見られたとの記載(ACGIH(2001))があることから、区分2(血管系)とした。ヒトにおいて気道刺激性があるとの記載(ACGIH(2001),ICSC(J)(1994))、およびめまい、悪心、意識消失、反射の喪失など中枢抑制があり死に至ることがあるとの記載(PATTY(5th, 2001))に基づき、区分3(気道刺激性,麻酔作用)とした。血液系の障害のおそれ(区分2)呼吸器への刺激のおそれ(区分3)

眠気及びめまいのおそれ(区分3)

特定標的臓器毒性

(反復ばく露)

農度: 2.08 mg/L/6 hr) ) (ACGIH (7th, 2002)、EU-RAR (2004)、 PATTY (6th, 2012) ) ことから、吸入経路では区分に該当しない相当であるが、

他の経路の毒性情報がない。従って、データ不足のため分類できない。

誤えん有害性 : 分類できない。

### 12. 環境影響情報

派告性 水生環境有害性 短期(急性): 甲殻類(オオミジンコ)48時間EC50=0.9mg/L(EU-RAR、2004) 水生生物に非常に強い毒性(区分1) 水生環境有害性 長期(慢性): 急速分解性があり(OECDテストガイドライン301Fによる28日間の 分解度: 77%(EU-RAR, 2004))、

藻類(Pseudokircheneriella subcapitata)による72時間NOEC = 0.94 mg/L(EU-RAR, 2004)であることから、区分3とした。 長期的影響によって水生生物に有害(区分3)

良分解性。BOD分解度 = 77% 低濃縮性。BCF = 31~129 データなし 残留性・分解性 生物蓄積性

土壌中の移動性

本品はモントリオール議定書の附属書にリストアップされていない ため、分類できないとした。 オゾン層への有害性 :

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物

: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。 都道府県知事などの許可(収集運搬業許可、処分業許可)を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付して 廃棄物処理を委託する。

廃棄物の処理にあたっては、処理業者等に危険性、有害性を充分告知

の上処理を委託する。

本製品を含む廃液及が洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま 埋め立てたり投棄することは避ける。

(参考)(1)燃焼法 可燃性の溶剤等と共に噴霧するか、又はケイソウ土、木粉(おが屑 等に吸収させて、アフターバーナ及びスクラバ付き焼却炉の火室で 焼却する。

(2)活性汚泥法 生分解性があるので、低濃度の廃水は活性汚泥処理が可能である。 内容物により汚染された容器及び包装材は、関連法規の基準に従って 適切に処分する。 空内容数を廃棄する場合は、内容物を除去した後、産業廃棄物処理業者

汚染容器及び包装

に処理を委託する。

## 14.輸送上の注意

緊急時応急処置指針番号 : 128

```
国際規制
```

海上規制情報 (IMDGコード/IMOの規定に従う)

: 1145 UN No. Proper Shipping Name: CYCLOHEXANE

3 (引火性液体) Class Sub risk

: : Ye : 1L ^TA-Packing Group Marine Pollutant

Yes (該当)

Limited Quantity

航空規制情報(ICAÓ-TI/IATA-DGRの規定に従う)

UN No. 1145

Proper Shipping Name: Cyclohexane

Class 3 Sub risk Packing Group : 11

国内規制

|| 陸上規制情報(消防法、道路法の規定に従う) |海上規制情報(船舶安全法/危険物船舶輸送及び貯蔵規則/船舶による危険物の運送基準等 | を定める告示に従う)

国連番号

1145 シクロヘキサン

開発 名 クラス 副次危険 容器等級 海路等級 海路等級 П 該当

MARPOL73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送の有害液体物質の汚染分類: Y(シクロヘキサン)

シクロヘキサン

品名 クラス 副次危険 3 等級 -11

少量輸送許容物件 許容量

特別の安全対策

危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した 運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載する。

屋城谷路が冷下し、転倒もしては城頂しなれる力に損戦する。 危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬する。 災害を防止するための応急措置を講ずると共に、もよりの消防機関その他の関係機関に通報する。 他の関係機関に通報する。 に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないようにほるが、み、英麗れの防止を確実に行る。

制なに除りては、量別ロルで起け、日間のでない。 に積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。 移送時にイエローカードを運搬人に保持させる。

#### 15. 適用法令

労働安全衛生法

: 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (政令番号 第749号「シクロヘキサン」、対象重量%は 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (政令番号 第749号「シクロヘキサン」、対象重量%は

(規則別表第2)

7/8 ページ 昭和化学株式会社 SDS No. 03482150

> 危険物・引火性の物「その他の引火点が-30 以上0 未満の物」 (施行令別表第1)

なお、皮膚等障害化学物質およびがん原性物質に非該当 (安衛則第594条の2、安衛則第577条の2)

化審法 : 優先評価化学物質 No.96(官報公示日:2012/03/22) 評価対象;生態影響 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) :・分類「第1種指定化学物質」 ・政令番号「1-176」

・管理番号

「629」 「シクロヘキサン」 ・政令名称

毒劇物取締法

消防法

・政令名称 「シクロヘキワン」
: 非該当
: 危険物第4類引火性液体、第一石油類 非水溶性液体 指定数量200L 危険等級 (法第2条第7項危険物別表第1)
: 引火性液体類(危規則第2,3条危険物告示別表第1)
: 引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)
: 揮発性有機化合物(VOC)(法第2条第4項) 「シクロヘキサ」
: 有害液体物質 Y類物質「シクロヘキサン」(施行令別表第1)
: キャッチオール規制(別表第1の16項) HSコード: 2902.11 室29類 有機化学品 船舶安全法 航空法

大気汚染防止法

海洋汚染防止法

輸出貿易管理令

第29類 有機化学品 ・輸出統計番号(2025年1月版):2902.11-000 「環式炭化水素

・飽和脂環式炭化水素、不飽和脂環式炭化水素及びシクロテルペン炭化水素:シクロヘキサン」輸入統計番号(2025年4月1日版):2902.11-000「環式炭化水素」

- 飽和脂環式炭化水素、不飽和脂環式炭化水素及びシクロテルペン 炭化水素:シクロヘキサン」

#### 16. その他の情報

(注)本品を試験研究用以外には使用しないで下さい。

# 参考文献

化学工業日報社 化学工業日報社(2007) 中央労働災害防止協会編 共同出版 共同出版

化学工業日報社 産業中毒便覧(増補版) 産業中毒便覧(増補版) 化学物質安全性データブック 公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) ないまとなった。ためでは、「Chemical Sul 医歯薬出版オーム社三共出版

公害と母・厄険物(総調編、無機編、有機編) 三共山版 化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修 Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM GHS分類結果データベース nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHSモデルMSDS情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター 製品評価技術基盤機構) ΗP

このデータは作成の時点においての知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。なお、この安全データシート(SDS)はJIS Z 7253:2019に準じ作成 しています。

昭和化学株式会社 8/8 ページ SDS No. 03482150